

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成27年度第5回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	平成28年2月9日（火）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター会議室2
出席委員の氏名 又は人数	直田春夫会長、岸本信子委員、村上・委員、篠田重一委員、大前道廣委員、黒崎晃史委員、徳丸徹委員、米田育子委員、小林茂夫委員、吉川勝子委員、藤井久美委員 計11名
欠席委員の氏名 又は人数	眞鍋宣征委員、清水賢一委員
出席職員の職・氏名 又は人数	西脇市長 片山象三、都市経営部長 大前悟、まちづくり課長 柳田みどり、まちづくり課長補佐 池田正人、まちづくり課主任 和田裕行 計5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1 協議等 (1) 答申書について (2) まちづくり活動審査部会審査報告について (3) その他 2 その他 (1) 来年度の予定について (2) 委員の任期について
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
事務局 会長	<p><b>1 協議等</b></p> <p><b>(1) 答申書について</b></p> <p>事務局から資料に沿って、事前の委員質問に対する回答などのほか、答申書の内容について説明。</p> <p>事前に委員の皆さんに答申書案等の資料を配布させていただき、主に3点の御意見をいただいた。</p> <p>1点目は、答申書第3項目については交付金のことについてであり、その中に人的支援も含むということで「事務局人件費」と明確に書いているので、この表現で良いかと思う。もちろんアドバイスや情報提供といった意味での支援もあるが、大</p>

委員	長	<p>前提として含まれているので、答申書に盛り込む必要はないかと思う。当初から着目しているが、事務局機能の充実というのは地域自治協議会のカギとなる部分であり、必要な人件費を交付金には是非盛り込んでいただきたいということで、このような形にしている。この部分については今の形でよろしいか。</p>
委員	長	<p>異議なし 2点目、3点目については答申書第5項目の市民提案型まちづくり事業についてで、特に「わかりやすい」というところを明確にした方がよいという御意見だが、「有効的な」よりは「使いやすい」という表現の方が馴染みやすいと思う。また、最後の「周知徹底に努められたい」というフレーズは重要な意味を持っているので、強調されている表現でよいと思う。そのようなことを踏まえ、現在の形でよろしいか。</p>
委員	長	<p>異議なし 事前に承った御質問等については以上となるが、他、何か御意見等はないか。</p>
委員	長	<p>答申書第5項目の内容について、少し回りくどいような印象を受けるが、「発足初期からの活発な活動を支援するため設立後1年以上の団体を対象とするといった制限をなくすなど」という部分は無くてもよいのではないか。</p>
委員	長	<p>この部分はファーストステップ事業とチャレンジ事業を統合するにあたって、細かな制約を無くしていくという説明で、省略してもいいという御意見であるが、皆さんはどうか。</p>
委員	長	<p>今までの制度では、そのような制約が確かにあったので、それを無くして、より利用するものにとってわかりやすく使いやすいということが強調されるものだと思う。この制度を初めて見る人だと、この説明は無くてもいいのかと思うが、これまでに利用してきた人や、この制度を知っていた人からするとよくわかって良いのではないか。</p>
委員	長	<p>確かにそのような意味合いもあることから、今の形で進めていくということで良いか。</p>
委員	長	<p>異議なし。 他に何か答申書について御意見等はないか。無ければこの答申書を市長へ提出させていただく。 全員一致で異議なしのため答申書を完成とする。</p>
市長	長	<p>○答申書提出 地域自治協議会のあり方等について ◇直田会長から片山市長へ答申書の提出</p>
市長	長	<p>委員の皆様にはお忙しい中度々お集まりいただきありがとうございます</p>

<p>事務局</p>	<p>思う。今答申をいただいたが、地域自治協議会のあり方について、またまちづくりに関する補助制度のあり方について御審議を重ねてもらった。そして、8月から始まった各地区でのまちかどミーティングにおいても、参加、出演をいただき、本当にお世話になった。皆様が各会の冒頭で朗読劇をしてくださったおかげで市民の皆さんが話を聴く体制に入っていたと思う。皆様なくしてはあのようなスムーズな進行はできなかった。本当に感謝している。皆様の熱い議論の賜物である答申を最大限に尊重して、これからのまちづくりに生かし、進めていきたいと思っている。この先も変わらず御指導をいただくようお願いしたい。</p> <p>市長については公務のため退席をさせていただき旨説明。 ◇市長退席</p>
<p>まちづくり活動審査部長</p>	<p><b>(2) まちづくり活動審査部会審査報告について</b></p> <p>平成27年11月6日に後期のまちづくり活動審査会を実施し、地区まちづくり実践補助事業及び市民提案型まちづくり事業の企画書に対する審査を行ったので報告をさせていただく。本日の資料の1ページから4ページが説明資料である。地区まちづくり実践補助事業については2団体、市民提案型まちづくり事業については1団体の申請があり、それぞれ企画書に基づくプレゼンテーションをしてもらい、質疑応答を経て、全てについて申請額満額の交付をする審査結果を出させてもらった。ただ、内容について各団体に要望する事柄もあったため、意見を付させてもらった。</p> <p>西協区の童子山整備事業については、市所有の土地の維持管理的な事業であるため、その経費は100%補助という形でこれまでできていたが、その性質上、補助金でやっていくよりは委託事業へ形を変えるのも一つではないかという意見も審査のなかで出ている。また、地区の皆さんの交流の場とする目的で地区内の空き家や駐車場を借りて、ふれあい交流館事業をされているが、現在は100%の補助率となっている。それを、そろそろ利用者からある程度の受益者負担をしてもらい、補助率を下げていくなり、減額をしていくなりの検討をしてほしいと働きかけをお願いした。</p> <p>また、津万地区の生き生きTUM A協議会だが、西林寺のあじさい園の入口のところでふれあい喫茶をつくるための施設設備整備を進めている。その中で、事業費総額約600万円のうち、半額の300万円を県の補助で賄い、残りの300万円のうち半額を、このまちづくり実践補助金で充当したいと申請をされた。</p>



会 長	<p>ているので、連携の方法を考えてもらい、住民にとって何も知らないという不安を少しでも解消していければと思う。</p> <p>今伺ったことはある意味大切なことだ。地区が主催することは地区内に浸透していきやすいが、NPOなど市民活動団体が手掛けるものは対象を複数地区としているため、逆に地区によっては浸透しにくい面もあるかもしれない。情報提供によって応援をしに行こうという方も増えるかもしれないし、資金援助をしようということにも繋がる可能性もある。そういう意味ではできるだけ広く情報提供をするのが良いかと思う。しっかりとした根回しをするかといえはそこまでの必要はないと思うが、各団体の責任で、できる限り広められるよう市もアドバイスをしていただければ良いと思う。また、補助金を出しているということは税金を使っているということもあるので、市民の皆さんに広く事業を周知することも大切かと思う。</p>
委 員	<p>広報紙に募集は載せられるが、採択結果等も載せて市民の皆さんに見ていただければ良いと思うが。</p>
事 務 局	<p>情報提供については広報紙及びホームページで、例年5月ごろには事業の募集と併せて前年度の活動報告を、9月ごろにはその年度の活動採択を受けられた団体と活動内容を紹介し載せている。</p>
事 務 局	<p>まちづくり活動について平成27年度の活動報告会を4月下旬に開催するのでお知らせをさせていただく。地区まちづくり実践補助事業及び市民提案型まちづくり事業の実施団体計18団体に参加してもらい、各2から3団体ずつ報告をしてもらう。まちづくり活動審査部会委員を中心に日程調整をさせてもらうが、当日は審議会委員にも積極的に参加していただきたい。</p>
会 長	<p>報告会を開催するという事なので、公金を扱う事業にとっては非常に大切なことだ。審査部会の皆さんには審査からお世話になっている。審査部会の皆さんだけではなく、審議会委員の皆さんにも積極的に参加をいただきたい。</p>
会 長	<p><b>(3) その他</b></p> <p>本日の審議会第5回を迎え、平成27年度の最終となる。また我々の委員任期は3月末までのため、現メンバーでの協議は最終となる。また次期も引き続き委員を続けられる方もあると思うが、一つの区切りを迎えるため、皆さんから感想などを承りたい。</p>
委 員	<p>感想を述べる前にひとつ質問をしてもよろしいか。</p> <p>答申の第2項目に地域自治協議会に関して「モデル事業を実施し」とあるが、モデル事業に設定している地域はあるのか。</p>

事務局

また、28年度にモデル事業を進めるとして、それを受けてまた次年度に進めていく地区ができ、そしてまたその次にといった具合に進める予定であるのなら、市内8地区すべてが地域自治協議会を立ち上げるということについての年限についての努力目標みたいなものはあるのか。

来年度はモデル事業まで進めていくのは少し難しいと考えている。今のところ黒田庄地区と比延地区を進めていけるよう考えているが、モデル事業ということではなく、前段階として各地区のまちづくり計画の再編に取り組んでいく。比延地区と西脇地区、芳田地区についてこれまで3年間で再編を進めてきた。1期目の計画の中でできた事、できなかったことなどを整理し、これから10年、20年先の社会を見据えて少子高齢社会に対応するきっちりとしたまちづくり計画へと再編してきている。その中で、これから何をすべきなのかということを経済に先行で考えていただき、次いで、そのために必要な組織とはどんなものだろうということを考えてもらいたいと思う。多くの方が関わることでできる組織づくりを考えてもらう機会として、まちづくり計画の再編の際に地域自治協議会のことと一緒に進めていけたらと考えている。来年度その再編については黒田庄地区、津万地区にお願いする予定にしている。比延地区についてはまちづくり計画の再編は一番初めに終わっているため、来年度は地区まちづくり実践補助事業のなかでコンサルティングの委託料を取ってもらい、指導を貰いながら円卓会議等を進めてもらいたいと考えている。黒田庄地区については一番モデル事業に近い形として事務局人件費も試験的に付けて事務局強化を進めてもらいたいと考えている。

一年間地域自治協議会についての話し合いを繰り返しながら、これで進められるという地区ができてくれば順次モデル地区として進んでいくかと考えている。

具体的に、どれくらいの期間をかけて市全体が地域自治協議会の形へなっていくのかということころだが、準備段階、モデル地区を経て本格実施という流れで段階を踏んで、一括交付金の交付というところまでとなると3年はかかると思う。それが全8地区ということになると、8年から10年かかり、平成35年度くらいかと考えている。順番については、地区の意識のあり方が一番重要になってくる。大体の順番は市でも考えているが、地域に入っていく間に変わってくることもある。まずは黒田庄地区と比延地区について進めていきたいと考えている。

会長

地域自治協議会については、行政からの指示でやっていくの

	<p>ではなく、やはり地域が自主的に進めていくことが望ましいので、そこを行政が支援していくことが一番良いと思う。実際動き出せば意外と期間が短くなることも考えられる。最初にひとつできると、それを参考にしながら、他の地域も動き出すということもある。入念に準備をしてモデル地区を経て実際に形にしていくという丁寧な形をとられることはいいことだと思う。また、地区まちづくり計画の再編に絡めて、地域課題をいかに解決していくか、またそのために一番適切な仕組みはと考えた時に地域自治協議会でもって地域の総力を出せるように進めていくということが大切かと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>黒田庄地区がモデル地区となる方向で考えているということだが、平成28年4月に役員の改正がある中で、地域の皆さんに広くPRをすることができていないのが現状だ。前向きに進んでいかなければという気持ちで、平成28年度中に何とか準備をし、色々な人が参加できるような組織の進め方をしながらやっていきたいと思っている。その中で、事務局職員について今現在は行政出身のしっかりとした職員が一人いるが、もう一人は確保したいと思っている。その人の選考について区長会や住民の中から探したりと試みているが、行政から斡旋をするということはないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>行政のOBなどが向いているということもあり得るので、斡旋とまではいかないが区長会や住民会議と相談しながら紹介できる人がいれば積極的に働きかけたいと思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局職員というのは非常に重要なところで、会長に次ぐキーパーソンとなる。一般論ではあるが、その地域に住み、その地域のことを昔からよく知っているという人はもちろん良いが、一方で今後のことを考え若い人を育てるということも大切だと言える。地域外の人を呼び込んでも良い効果はある。即戦力のスーパー事務局員が来ることも良いが、10年後のスーパー事務局員を育てるという視点も是非持ってほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>この審議会に参加させてもらい、色々勉強になった。ありがたく思っている。</p> <p>地域自治協議会をどう進めていくかというのは、初めてのことであり時間がかかるかもしれない。一つモデル地区をつくり、それを広めていくという手法は非常に良いと思う。コンサルティングという言葉が会議中に出ていたが、地元以外の西脇市のことをあまり知らないような人でも、まちづくりの専門家という人があるのだから、力を借りるのも一つかと思う。やはり本腰を入れてやるならば、そこにお金を費やして、確実にま</p>

	<p>ちを良くしていく専門家に依頼して進めていくのも一つの手ではないかと思う。もちろん地域の人と一緒にやっていくことだが、そのような大胆なことをしてでも、少し早めに西脇市が良くなっていくように進めていくのも必要ではないかと思う。10年近くかけて各地区での土台をつくり、そこからまたまちづくりの方策を探していくというのは時間がかかりすぎるような印象を持っている。その地域の経緯などもあり、時間が必要だということも分かっているが、時代はもっと早く進んでいくように思う。</p>
委員	<p>このような会議に参加させてもらい、非常に勉強になった。本当にわからないことばかりで、難しい会議だったと思いながらも、もっと私のような30代、また20代と若い世代が参画できるようになれば良いと思う。</p>
委員	<p>より良い西脇市、地域づくりのためにはどうすべきかということ在必死になって考えてきたし、またこれからも考えていかなければと思っている。やはり自治基本条例を少しずつ進めていくということは、持続可能な地域づくりを目指すということだと思う。特に私が住んでいる中畑町や住吉町などは高齢化率が40%近くになっており、この先の大変さをひしひしと感じている。その中で、比延地区においても地域自治協議会という組織づくりが始まっている。何とか持続可能な地域となるように、これからも微力ながら力を注いでいきたいと思っている。</p>
委員	<p>地区ももちろんそうかもしれないが、自治会単位で結構な量の問題、課題が起こる。地区全体の問題よりも町内の問題を解決させることが忙しいということだ。先日、地区のまちづくり協議会の会長と地域自治協議会のことについて話をしたが、具体的に何をどうしていくのか、会長、事務局等についてどういう人選をするのか、また、区長会が中心になるとしても、区長の任期がだいたい2年で終わるので、そんななかで地域自治協議会の仕事を進めていくことができるのかといった話になった。書いたものをやってみるとしても、見るとやるとでは大違いということもあるので、難しいと思う。地区全体よりも大きな問題、例えば少子高齢化問題や地域農業の問題などもある。そんな時に地域自治協議会の地域活性化活動は進んでいくのかと不安に思うこともある。</p>
委員	<p>この審議会については皆さんの色々な意見を聞く中で、地区として何とか地域自治協議会を進めていかなければという思いを持つようになった。しかし、地区以前に町内での課題が多いというのも事実で、それぞれの集落が問題解決のために努力を</p>

委員	<p>している。その辺りをうまい具合に地区で吸い上げながら効率よく解決に繋げていけるような仕組みをつくっていかねばと考えている。黒田庄地区では合併から10年が経って、未だに合併の必要性が有ったのかと考える住民がいる。そのような考えが少しでもプラスへと変わり、一体となって同じ方向を向いて進めていかねばと思う。</p> <p>私が住む地区は今モデル地区の導入予定に入っていないが、町内だけで考えても、老人会に入る年齢であってもほとんど入らず、まちづくりを進めていくと言っても、ほんとに皆が参加してくれるのかと不安に思う。昔と違い、みんな自由になってしまい、助け合いの気持ちも若干薄れているように思う。この場にいれば私も前向きな意見を言う事ができるが、いざ地元で前向きに皆さんに参画を勧めていこうとすれば、どうすればよいか戸惑うところもある。やっぱり皆が意識をそこへ向け、理解をしてくれないとなかなか地域自治協議会などを進めていくのは難しいかと思う。皆さんを引っ張れるようないいアイデアが無いか考えているがなかなか浮かばない。他の地区でも良いアイデアを取り入れられていれば参考にしたい。</p>
委員	<p>毎回皆さんの意見を聞かせてもらい、共感させてもらうが、やはり地域に戻り、現実を見るとなかなか前へは進まないと感じている。私は初め、住んでいる地域のまちづくり協議会が、そのまま発展的に地域自治協議会になっていけば良いと思っていた。しかし、勉強をする度に、そうではなくて、また違うものだという風に思うようになってきた。区長会が頑張っていたいて意識を高めてもらうしかないかと思う。</p>
委員	<p>先日、丹波市の恐竜の里に行ったが、地元の地域自治協議会で恐竜の里を手掛けているということだった。このようなイメージができればやり易くありがたいと思う。西脇市に置き替えて考えると、モデル地区をまず考えてもらい、イメージ作りをしてもらい、その中で少しずつ進めていくしかないかと思う。ただ、非常に厳格に考えておられるところがあると思うので、あまり難しく考えずに、モデル地区も参考にしながら、問題があれば組織の中で変えていってという風に柔軟に対応していくことも必要かと思う。</p>
委員	<p>各地域で特色を生かしたまちづくりを進めてもらいたいと思っている。テレビ等で他地域のまちづくり事例などを見ていると、西脇市でもこのようなところをつくれたらなとよく思う。例えば播州織などをもっと手軽に手にでき、住民みんなで着用してアピールしながら拡げていけたらとか、西脇市の特色が出</p>

<p>委員</p>	<p>せるまちづくりを常々考えている。ただ、想いを形にするのは難しい。目標があれば、どんな人もそれに向けて一生懸命取り組むことができると思う。良いものを見つけて、皆が一体となって一生懸命取り組めれば、どんなに素晴らしい西脇市になるだろうと思う。他地区のまつりに参加をさせてもらうこともあるが、いつも良く頑張っているものを創り上げられているなど感心する。やはり、地域の人だけではなく、外の者も出かけていき、一緒になって盛り上げていくということはとても大事なことだと思う。</p> <p>2年間この場で皆さんと同じ空気を吸い、いろいろな意見を聞き、また、朗読劇など共同作業があり、自分にとって本当に勉強になったというのはもちろんだが、皆さんと知り合い、審議会の場合以外のところでもご一緒できるようになったのがすごい財産だと思っている。私は津万地区のまちづくり協議会に所属しているが、地域自治協議会については他地区の様子を見ながらゆっくりと進めていこうという意見や、取り残されないように早く進めていくべき、優先的に色々支援が受けられる今のうちに進めようという意見など、役員の中でも意見が分かれている。ただ、役員会の中などで、地域自治協議会の議題が出るようになったのが、前進したことのひとつだと思う。津万地区では今年度、西脇市の地区まちづくり実践補助事業や県の補助制度を利用して「TUMAこいカフェ」の整備をさせてもらった。老若男女皆が集まれる場をつくりたいという想いが実現した。やっていくうちに地域を巻き込んで進んでくることができた。看板ひとつをとっても、次々に地区内の人の手をわたって完成してきた。また高校生がエプロンを提供してくれたり、保育園児がイベントを盛り上げようと言ってくれたり、地域の力が集まってくることを実感した。</p>
<p>委員</p>	<p>カフェについては西脇高校と深く関わりを持とうと試みている。地域と高校がコラボして、ゆくゆくはその場所で実習をしてもらえたらなどと考えている。地域の高齢者などを迎えて、福祉関係や調理関係など、いろいろな実習の場として使ってもらえたらうれしいと思っている。地域の方も本当に協力してくださるので、今から楽しみにしている。</p>
<p>会長</p>	<p>地域の総力をあげて進めているといった感じで、本当に良い試みだと思う。まさに補助金の意味があると思う。</p> <p>みなさん本当に色々な御意見、御感想をいただき、ありがたく思う。</p> <p>御意見の中で委員が言われていたが、第三者的なコンサルが</p>

入り、また違う視点で物事を見るというのは大事なことだ。まちづくりについては昔から若者・馬鹿者・よそ者という言葉があるくらいで、若い行動力を持つ人、また思い込んだらぐっと進み続ける力を持つ人、そして地域内の住民とは違う視点で見ることでできる人が必要だと思う。地元の人には地域に根ざしてしっかりと足を付けるということから「土の人」といい、外から違う視点で風を吹き込む人を「風の人」ということもある。例えば事務局職員などでも、地域外の若い人を呼び込んできて新しい空気を吹き込むということも非常に有効かと思う。

また地域自治協議会について、5年10年とゆっくり同じ議論をしていってもしょうがないので、とりあえず手を付け、早く進めていく方がいいのではという御意見もあったが、たしかに今から5年10年経てば、まちづくりをしている人も歳をそれだけ重ねるということでもあり、短期勝負の方が有効なことも考えられる。今考えている地域自治協議会の仕組みは完成品ではなく、進化しつつあるものだ。全国的に早めから地域自治協議会を導入しているところでも、10年経った今でも全面的に組織の仕組みを見直しているなど、どんどん進化を続けている。西脇市でもモデル地区を経て進み、評価、反省のうえに立ってまたいい仕組みへと変えていくと考えてもらえば良いと思う。その間も常に住民が関わっていくということだけ続けてもらえばよい。しっかりモニタリングをし、仕組みをより良くしていくシステムを作り上げ、組織の存続に人が合せるということはいらないように進めるべきかと思う。そのようなところでは官より民間の感覚で、市場調査と似た感覚を持って進めていくのが良い。

審議会の委員には西脇市自治基本条例の策定に関わっていただいた方も多くいらっしゃるが、やはりそれが一つのベースになりつつあるという感じを持っている。持続可能な地域づくりのためにこの条例はあるし、地域自治協議会もある。目標は地域の方が皆で参加し、幸せに暮らしていける仕組みをつくるというところにある。ただその仕組みがしっかりしていないと住民は動きだし難いということがあるため、自治基本条例を正しく理解してもらい、認識を持ってもらうことが必要かと思う。

区長と地域自治協議会との関係も大事なところで、もちろん区長は各自治会内の仕事だけでも大変だと思う。ただ自治会内だけでは解決できない問題も多数あると思うので、地域内の総力を合わせて取り組んでいこうというのが地域自治協議会の仕組みであるため、やはり区長の関わり方をしっかりと認識して

	<p>もらわなければ、組織が宙に浮いたものになってしまう。地区内で色々と問題はあるかもしれないが、解決のために補完し合い助け合うということが大切だ。現在の仕組みで考えれば区長会やまちづくり協議会や組織が色々あると思うが、地域自治協議会になったとして、どちらが上で、どちらがメインでというような話で考えてしまうとなかなか良い方向へは行かない。老若男女色々な人が参加できる場をつくり、いろんな立場の人が意思表示をしていけるような仕組みづくりが必要かと思う。</p> <p>昨年度からこのメンバーで審議会を何度も開いてきたが、まちかどミーティングでの朗読劇は非常に効果的だったと思う。またビデオを作成し、啓発に使えるようにしてもらえればと思う。また、津万地区でコミュニティカフェがオープンすることで、他地区にもあると思うが、このような場を大切にしてもらい、堅苦しくないまちづくりの話をしてもらえればいい話もできると思う。会議となるとやはり発言に重みを感じ、軽く言えない雰囲気もあるが、カフェで日常的に会話としてやってもらい、また仲間の発掘に繋がるかもしれない。地域のふれあいの場として、また拠点として活用してもらいたいと思う。</p>
<p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p><b>2 その他</b></p> <p><b>(1) 来年度の予定について</b></p> <p>来年度開催予定の審議会の内容等について、資料に沿って事務局から説明</p> <p>地域自治協議会の進捗状況の報告等、年度内に2回程度審議会を開催する予定。また、まちづくり活動審査部会については例年どおり前期及び後期の審査会、活動報告会などを開催する予定。</p> <p><b>(2) 委員の任期について</b></p> <p>委員の任期について資料に沿って事務局から説明</p> <p>今年度3月31日で現審議会委員の任期が終了するため、まちづくり活動審査部会も含めてできるだけ再任をお願いしたい。また御要望等があれば事務局へ連絡をいただきたい。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>都市経営部まちづくり課</p>